

【件名】

脱炭素社会の実現に向けたアンケート調査の実施結果及び脱炭素ロードマップの作成に向けた考え方について

1 アンケート調査の実施結果

(1) 調査の目的

中野区の二酸化炭素の削減ポテンシャル等の分析にあたって、区民及び事業者のエネルギー消費状況や省エネルギー・再生可能エネルギー等の取組状況、環境保全に関する意識等を把握するために実施した。

(2) 対象者

①区民向け調査

無作為抽出した満18歳以上の区民2,000名

②事業所向け調査

無作為抽出した500事業所

(3) 回答方法

郵送またはWebフォームによる回答

(4) 実施期間

令和5年8月28日から9月11日まで

(5) 集計結果

回収数及び回収率

- ・区民向け調査 452人（回収率22.6%）
- ・事業所向け調査 140件（回収率28.0%）

2 脱炭素ロードマップの作成に向けた考え方

現在、ゼロカーボンシティ宣言及び環境基本計画で定めた二酸化炭素排出削減の目標達成に向けて、区が取り組むべき削減量や取組内容を具体的に示すために、脱炭素ロードマップ作成の検討を進めている。本ロードマップには、主に以下の内容を記載する考えである。

(1) 2030年度の二酸化炭素排出量将来推計

環境基本計画で定めた2030年度時点での2013年度比46%削減の目標実現に向けて、電力排出係数の変化に伴う削減効果や、国及び東京都の施策等による削減効果を推計することで、区が取り組むべき削減量の推計を示す。

(2) 2030年度の削減目標の達成に向けた区の取組

(1)で示した区が取り組むべき削減量を着実に達成するために、環境基本計画の

アクションプログラムに記載した取組を基本としつつ、さらに追加で実施する取組についても検討を進め、その取組内容及び削減効果を示す。

(3) ゼロカーボンシティ実現に向けた区取組

2050年度のゼロカーボンシティ実現に向けて、現在研究・開発が進められている技術や、今後研究・開発が進められることが想定される技術等を踏まえたうえで、現時点で想定される取組の方向性を示す。

(4) ゼロカーボンシティ実現に向けた区民や事業者の取組

ゼロカーボンシティ実現に向けて、区民や事業者が取り組むべき取組について示し、効果的な普及啓発を進めていく。

3 今後の予定

令和6年3月 脱炭素ロードマップ（案）の作成

令和6年6月 脱炭素ロードマップの作成